

第170回学校体育研究同志会全国研究大会大阪岸和田大会



子どもも わたしも やりたくなる 体育 運動あそび 健康教育 実践
～学び 仲間 未来につながる「それええやん！」～

わたしたち学校体育研究同志会は、みんながわかってできる体育、運動あそび、健康教育の実践づくりに取り組んできました。

教育・保育現場には、さまざまな課題が山積しています。そして、多くの仲間が日々奮闘しています。そんな中、わたしたちの糧となるのは、子どもはもちろん、わたしたちも「やってみたい」と思える教育・保育内容ではないでしょうか。この研究大会は、そんな「やってみたい」がたくさん見つかる大会です。ぜひ、みんなで豊かな教育実践を創っていきましょう。

★大会日程：2025年8月2日(土)～4日(月)

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
2日 (土)					受付	開会行事 ・ 記念講演	移動	分科会①	移動	特別講座			
3日 (日)		受付	分科会②	昼食		分科会③		移動		文化交流の夕べ (夕食交流会)			
4日 (月)		受付	分科会④	閉会 行事									

★会場

2日(土)開会行事・記念講演・分科会①・特別講座

：岸和田市立東光小学校(南海電鉄岸和田駅:徒歩6分)

3日(日)分科会②③

：岸和田市内小学校

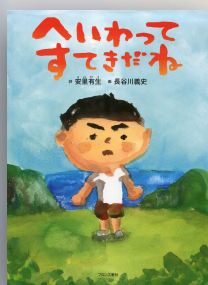
文化交流の夕べ

：岸和田グランドホール

4日(月)分科会④・閉会行事：岸和田市立東光小学校



★開会行事 2日(土)13:00～ オープニングセレモニー 基調提案



長谷川義史さん×体育同志会の
オリジナルコラボグッズを販売
します!! 乞うご期待!!

記念講演：長谷川義史さん(絵本作家)

「いいからいいから ～絵本と自由と人間らしさ、そして平和～」

大阪府藤井寺市出身の長谷川義史さんが描く絵本は、日々の日常をおもしろおかしく取り上げつつ、人間らしいユーモアに溢れています。また、絵本の中で平和についても積極的に発信されています。そんな長谷川さんに、創造性や自由、人間らしさや平和について語っていただきます。

主催：学校体育研究同志会

主管：学校体育研究同志会全国研究大会大阪岸和田大会実行委員会

後援：大阪府教育委員会 岸和田市教育委員会 河内長野市教育委員会

柏原市教育委員会

朝日新聞社 毎日新聞おおさか支局 産経新聞社

★参加費

①参加費

【教職員・一般】	3日間7000円	2日間5000円	1日	3000円
【学生】	3日間3000円	2日間2000円	1日	1000円
	大レクパック	8000円	※(参加費+文化交流の夕べ) <u>学生のみ</u>	

【記念講演のみ】 1000円(当日受付にてお支払ください)

②子ども学校 20000円 2泊3日(宿泊・食事・活動費・保険料)

③保育 9000円(3日間)部分保育も可
2日(土)2000円 3日(日)5000円 4日(月)2000円

④文化交流の夕べ(参加者による夕食交流会)

3日(日)18:30～ 岸和田グランドホール

【教職員・一般】 9000円(夕食代・飲み物代)

⑤宿泊費 本大会では、**宿泊の斡旋は致しません。**個人で予約申し込みをお願いします。
なお、大会HPやグループLINEにて宿泊情報を発信しております。

★申込について

○大阪・岸和田大会に参加を希望される方は、「全旅マルっとペイ」にて以下の期間内に申し込みをしてください。

★マルっとペイ(<http://x.gd/g3B5g>)

申込期間：2025年**7月25日(金)**まで

※必ず参加者1人1人申込を行ってください。

ご家族や夫婦で申し込む場合も、それぞれお申し込みください。

※参加費のお支払いはクレジットカード、
コンビニ、ペイジー(簡単銀行振込)です。

※決済後のお取消しは7月30日(水)までをお願いします。システム使用料(165円)ならびに振込手数料などを差し引いた金額を返金します。期日を過ぎますと返金できませんのでご注意ください。

※会場受付にて、スマートフォンなどで「お申込完了メール」の画面をご提示ください。
(印刷されたものでも可)

※**当日参加も可能です。**

大会の申込は
こちらの
QRコードから！



★大会の案内について

大会前、期間中はホームページにて情報発信を行っています。

<https://sites.google.com/view/dousikaikishiwadataikai/>



★お問い合わせ先

大阪岸和田大会実行委員会事務局：渡辺

携帯：090-2063-0471

メールアドレス：yxmr61892@ares.eonet.ne.jp

大会の情報や案内は
こちら！

【大会LINEグループ】
に登録をお願いします



★特別講座 2日(土)17:00～18:30

	内容	講師
A	<u>【紛争地から見た平和憲法 ガザ、ウクライナ、アフガンの今】</u> 戦争の時代を生きる子どもたちに何をどう伝えるのか、どんな視点をもって教育の中で扱っていくのか、世界の紛争地から戦争のリアルを伝え続けている西谷文和さんから学びます。	にしたにふみかず 西谷文和さん フリージャーナリスト・イラクの子どもを救う会代表
B	<u>【大阪の文化（と平和）と落語】</u> 生活に「笑い」が根付いている大阪の文化の一つとして、「落語」の魅力を伝えられたらと思います。また、「落語」の“パフォーマンス”は、普段のコミュニケーションにも活かして日々の生活を豊かなものにしてくれますので、そのような側面も紹介します。	なんゆうていはるのすけ 南遊亭春之助さん 大阪いずみ市民生協
C	<u>【民主教育とは何か～奈良教育大学附属小学校の民主教育実践】</u> 一人ひとりの想いや願いを聞き取る事から始まる民主教育が平和構築に必須であることを歴史が証明しました。当小学校の民主教育実践やその教育実践を壊そうとする動きから、民主教育について共に考えを深めましょう。	いまいはやと いけだつばさ 今井勇人さん・池田翼さん 奈良教育大学附属小学校
D	<u>【こころ・からだ・おおきなあれー赤ちゃんから就学前までの年齢別健康教育】</u> 本講座は保育における健康教育の実践から学びます。乳幼児における健康教育とは何か、というお話から衛生習慣、身体測定、性教育等に至るまで、年齢別に具体的な取り組みから健康教育で大切なことを考えます。	やまぐち ち え こ 山口千恵子さん 元保育園看護師・大阪健康福祉短期大学非常勤講師
E	<u>【同志会実践の新しい時代を拓こうー運動文化の継承・発展の再発見】</u> 同志会創立70年の今、「運動文化の継承・発展」の意味を再発見し、新しい時代を拓く同志会実践の羅針盤を手にしましょう。	もりとしお 森敏生さん 武蔵野美術大学・東京支部

★分科会

大会では、17の分科会で体育・健康教育の実践づくりについて、3日間(4コマ)を通して追究します。下の表から1つだけ選んで、お申し込みください。

番号	分科会名	分科会紹介	実践・研究報告	実技
1	陸上運動	「投げる」ってどうやって授業するの？投げる面白さ、付けさせたい力について、低・中学年の「投げる」から「ボール運動への発展」と、高校の「やり・砲丸・ハンマー・円盤投げへの発展」の異なる投運動の系統性を、実践報告や実技を通して一緒に考えてみませんか。	・投運動(小3・小4) ・長距離走(中3)	有り (外・中)
2	器械運動	参加者のニーズを大切に、実践提案の検討と実技・指導法研究の両面から研究を深めていきます。器械運動が「できる」「わかる」楽しい授業づくりにつながる分科会です。また「からだ」についての研究も視野に入れて新たな体育観の創造も目指していきます。	・マット運動(小3) ・技術指導の再検討 (研究報告) ・からだ研究 (研究報告)	有り (中)
3	水泳・水辺文化	基礎泳法「ドル平」から近代泳法への指導と、水泳指導での大事なポイントを確認めます。また、水辺文化につながる様々な実践の可能性や水泳の授業づくり、それらを広げる学校づくりまで視野に入れた論議をしていきます。全国的に水泳の外注化が問題になる中での、水泳授業のあり方についても論議します。	・水慣れからドル平 (小学校) ・大学生への水泳 (大学生)	有り (プール)
4	サッカー	サッカーの授業づくり（子どもたちが興味深く取り組める教材開発、学び合いによる学級集団づくり等）について考えていきます。参加されるみなさんのニーズを大切にしながら、サッカーという文化が持つ可能性をともに探究しましょう。同志会伝統の東西対抗戦も実施します！！	・ウォーキング サッカー(小4) ・じゃまじゃま サッカー(小6)	有り (外)
5	フラッグフットボール	戦術を学び、みんなが活躍できるボール運動の授業づくりを行います。実技では基礎となる戦術的課題や技術を学びます。小学校3年生との実践提案を「学んだ知識を使って思考・判断するゲーム」をキーワードにして検討します。	・マスとりビンゴ ゲーム(小3)	有り (中)
6	バスケットボール	楽しければよいとするのではなく、「バスケットボールで何をこそ学ぶべきか」「どのように授業を組み立てるのか」などに焦点をあてて研究をすすめます。また、授業中に起こる子ども同士のトラブルや技能獲得上のつまずき、ふとしたつぶやきも大切な学習につながります。実践報告・実技を通して、参加者にとって充実した学びとなることを目指します。	・バスケットボール (中3)	有り (中)
7	バレーボール	参加者の議論により、バレーボールのおもしろさは何なのか、その魅力の本質にせまります。バレーボールでこそ学べる内容を整理し、小学校低学年から高校まで、どの子も夢中になって取り組めるバレーボール指導の系統や授業のつくり方を、実技と実践提案の検討を介して明らかにしていきます。	・バレーボール (小1・小2・ 小4・中2) ・研究報告	有り (中)
8	ベースボール	ベースボール文化の特質を明らかにし、基礎から系統的に学ぶ授業づくりを目指します。ボールを投げる、捕る、打つなどの個別の技術から、3：3から6：6までの三角・菱形ベースの学習内容を実践報告と実技をもとに検討します。	・ベース3on3 (小学校)	有り (中)

番号	分科会名	分科会紹介	実践・研究報告	実技
9	表現・ダンス・民俗芸能	自分の「からだ」への認識を高め、自然で、合理性のあるからだ使いや、他者との関わりから生まれる表現の面白さや可能性を追求していきます。表現運動、民舞、太鼓、ダンス、からだの学習等の授業・行事づくりを主とした実践についてレポート討議と実技を通して深めていきます。	・からだづくり、ほぐしからの表現(高1) ・みかぐら(大学生)	有り(中)
10	体育理論	子どもたちや地域がおかれているスポーツをとりまく環境や状況を見据え、実技だけでは学ぶことができない「体育理論」(教室でする体育)の実践を検討します。本分科会を通して「体育は何を教え・学ぶ教科であるか」を追求し「スポーツ文化の主人公」となる授業づくりを論議します。	・水泳(小・高学年) ・バドミントン(中・研究報告)	なし
11	健康教育	小学校養護教諭の「子どもたちが自分と向き合う時間～性に関する指導を通して～」は、からだや心を幅広く学んだ実践。高校実践は、不十分・未完成・色々な価値観がある人間が集まり学び合い居心地良く過ごしていけるには…と取り組んだ実践。2本の報告を元に議論します。	・からだと心(小学校) ・命と人権(高校)	なし
12	特別なニーズのある子どもと体育	どの子どもにも五感で感じる世界があるからこそ、子どもの一人ひとりの感覚を大切にする必要があります。多様な特別ニーズのある子どもたちが、何を感じ、楽しんでいるのかを読み取り、みんなとともに、わかる、できる、つながれる教材、授業づくりが求められます。一緒に考えましょう。	・マット運動(小・特別支援学級) ・ワクワクくす玉(肢体不自由特別支援学校)	有り(中)
13	小学校全学年	小学校分科会は、学級づくりを視野に入れて体育の授業をどう進めたらよいかを学び合います。教室には多様な子どもたちがいます。そんな子どもたちに体育で何をどう教えていけば、体育の楽しさや学ぶ喜びを味わい、友だちとの絆を深めることができるか、実技と討論で考えます。初参加者歓迎！	・タッチボール(小3・小4) ・フラッグフットボール(小4)	有り(中)
14	幼児の運動あそび	この分科会では、幼児期の運動あそびの教材や指導について、子どもの発達に照らしながら検討しています。今回は5歳児の民俗舞踊「荒馬」の教材化と3～5歳児の3年間に渡って取り組んだ走・投あそびから競争が必要か、という2本のテーマで検討します。それぞれの教材で教える中身は何か、発達と照らしながら子どもの姿から探っていきたいと思います。	・荒馬(5歳児) ・走・投あそび(3～5歳児)	有り(中)
15	グループ学習	「みんながみんなでうまくなる」ことを目指したグループ学習について学びます。基調提案では、グループ学習の基本的な考え方や研究課題について共通理解します。2本の実践報告と研究報告をもとに「グループ学習による授業づくり」を考えるとともに、「集団の高まり」とは何かを検討します。	・フラッグフットボール(小5) ・的当て・ボール運びゲーム(小1) ・研究報告	なし
16	教科外体育(行事・部活動)	この分科会ではとりわけ体育行事と運動部活動の実践を検討します。具体的には①子どもの自治や学習の状況、②体育授業との関連性、③教育課程全体との関係(カリキュラムマネジメント)、④卒業後のスポーツライフや社会との接続について議論します。学生の参加も歓迎します。	・運動会の実践(小) ・体育授業と教科外体育の関連性、カリキュラムマネジメント(小) ・運動部活動(中)	なし
17	子ども・スポーツ・社会と学校づくり	不登校児童生徒34万人が示すものは何か。窮屈な社会で窮屈な学校で生き辛さを抱える子どもたち。そこを乗り越える実践を交流しあい、子ども・若者が生きやすい場所、そして「学び」の場を、スポーツや地域をキーワードに、検討します。学校の存在意義や子どもが主人公の学校づくりについて考えます。さらに学校と地域において子どもの学ぶ権利をどう保障していくか、その取り組みを参加者で共有しながら、学びの本質と人としてつながり合うことの意味を考えていきます。	・秋桜高校の学校づくり ・埼玉和太鼓集団「響」とフリースクール「スコーレ・ムーンライト」 ・東京和光中「館山水泳合宿」	なし

★子ども学校 2日～4日
小学生(中学生要相談) 定員20名

ええやん体験盛りだくさんの子ども学校!! みんな寄っ
といでえ～🙌🥰 (信太山青少年活動センター🌟)
タイダイ染めTシャツづくり、チームビルディングで火
おこし体験、薪割り体験、キャンプファイヤー、バー
ベキュー、ピザづくり、記念のアルバムづくりなどな
ど体験が盛りだくさん🥰💖 あっつい夏やから熱中症
に気をつけて、でも心はあっつく燃やして大阪で楽し
い思い出つくってや～!!😄

★保育「森のウホウホ保育園」2日～4日
未就学児(今年4月3歳以上)

大阪岸和田大会が開催される3日間、3歳児から5歳
児を対象にした森のウホウホ保育園を開園いたしま
す。元気いっぱい保育士で保育します。
竹を使ったあそびや制作をし、作った作品は、お土
産として持って帰ってもらう予定です。子ども達が楽
しめるように最後の最後までウホウホ話し合っ保
育の中身を考えます！
3日間、参加者の方が安心して、良い学びができます
よう、お力になればと思っています。

